



## 水産情報速報版

H18.10.6 1212

静岡県漁業協同組合連合会  
☎054-254-6011 Fax054-253-9343  
編集・発行=指導部漁政課  
URL: <http://www.jf-net.ne.jp/sogyoren/>

### 1. 2006年度(第21回)漁協運動功労者37人決まる

JF全漁連は9月20日開催の漁協運動功労者表彰審査委員会で、JF漁連・JF信漁連会長等が推薦した35人と、JF全漁連会長推薦の2人の計37人を、2006年度(第21回)の漁協運動功労者に決定しました。

本県からは漁協運動功労者として、先に本会並びに県信漁連より推薦した宮城島昌典氏(清水漁協組合長)が、多年に亘り陸上養殖技術の普及・啓発、沿岸漁業の整備、組合員の所得維持と組合員の純化、港内の秩序維持等積極的な活動により、漁協の事業、組織の強化・発展に尽力する一方、漁協系統団体の役員として経済・共済等系統事業の推進に積極的に取り組み、本県漁業の振興・発展と漁協系統組織の強化・育成にも貢献している功績が認められ、今回の受賞となりました。

なお、表彰式、祝賀会は11月22日(水)、東京虎ノ門パストラルで行われます。ここに受賞を心よりお喜び申し上げるとともに、今後一層のご活躍をご期待申し上げます。

### 2. 平成18年度天草共販第7回入札会開催される

本会では10月4日、賀茂出張所において天草事業の第7回入札会を開催しました。第7回までの取扱累計は、138,828kg(5,571本)、取扱金額178,907千円、平均単価12,886円(10kgあたり)となりました。

今回の入札結果は次のとおりです。 入札数量: 47,578kg(1,913本) 取扱金額: 48,782千円 平均単価: 10,253円(10kgあたり) 最高入札額: 16,890円(10kgあたり) <生産地=白田、銘柄=まくさ(粗)>

### 3. 清水漁協をライフジャケット着用推進モデル漁協に指定

清水海上保安部ではこのほど、清水漁協において「ライフジャケット(救命胴衣)着用推進モデル漁協」として、清水漁協を同保安部では第1号に指定し、無留井保安部長より宮城島組合長に指定書の授与が行われました。

これは、ライフジャケット着用の重要性や装着の手軽さなどを、広く知ってもらうためのもので、モデル漁協に指定された清水漁協の組合員の方々は、ライフジャケットの意義について改めて再認識しました。また、この指定は9月21日から30日まで全国で実施されている「漁船海難防止強化旬間」の活動の一環で、今後は同保安部管内の11漁協、14マリーナを順次、モデル団体に指定する予定です。

### 4. トラフグ漁が解禁 県内のトラフグ漁獲量は20~25トンと予測

遠州灘を中心とするトラフグ漁が、10月1日解禁となりました。初日の舞阪漁港への水揚げは2,454<sup>kg</sup>で、1<sup>kg</sup>当たりの最高値は18,000円で取引されました。また、1匹当たりの平均重量は0.9<sup>kg</sup>、中には3.3<sup>kg</sup>の大物も水揚げされました。

なお、今年度の延縄によるトラフグ漁海況については、去る9月15日開催の県ふぐ漁組合員会議で、県水試浜名湖分場小泉主任研究員より説明がありました。

## 自立漁協の構築に向け合併・事業統合を進めよう

それによると、東海3県(静岡・愛知・三重)の延縄による今漁期のトラフグ漁獲量は、昨漁期の東海3県の小型底引網、延縄により漁獲されたトラフグの漁獲動向などを基に推定され、今期の漁獲量を80<sup>トン</sup>前後と予測されました。

静岡県内については例年通り1歳魚主体ですが、その割合は例年に比べて高くなり、漁獲量は20~25<sup>トン</sup>と予測されました。これは昨漁期の漁獲量約13<sup>トン</sup>を上回りますが、過去10年の平均漁獲量と比べると、半分程度の水準となります。

### 5. 養殖漁場の視察と一般消費者との意見交換会が開催される

全国海水養魚協会では10月4日、県かん水養魚協会、内浦漁協との共催により、養殖魚がどのように生産されるかを実際に自分の目で確かめ、養殖魚の重要性と必要性を認識してもらい、養殖魚の美味しさ・安全性をPRすることを目的として、一般消費者(東京都内中心)、水産庁、養殖業関係者など約60人が出席して「養殖漁場視察と養殖魚についての意見交換会」を開催しました。

漁場視察では、用意された遊漁船に分乗し、内浦湾のハマチとマダイの養殖生簀で、生餌、ドライペレットの給餌を見学するとともに、実際の給餌作業を体験し、使用している餌や、養殖魚、生簀等の説明を漁業者より受けました。視察後、昼食を兼ねて養殖されたハマチやマダイ、アジの刺身とマダイのアラ汁を試食しました。

引き続き意見交換が行われ、水産庁増殖推進部栽培養殖課富樫課長補佐より「意見交換を通じて互いの理解を深めてほしい」との発言があり、一般消費者から、生産履歴、タイの色上げ方法、種苗の確保などについて質問がありました。

### 6. 平成18年度船舶職員養成講習会受講生募集のお知らせ

本会では、漁業従事者能力向上事業(県委託事業)の一環として、焼津漁協との共催により例年開催している、船舶職員養成講習会の受講生を募集していますのでお知らせします。講習会の開催期間等は次のとおりです。

3級海技士(航海・内燃機関):平成18年11月14日(火)~平成19年3月7日(水) 4・5級海技士(航海・内燃機関):平成19年1月9日(火)~平成19年3月7日(水) 講習会場:県立漁業高等学園(焼津市小川汐入) 海技士国家試験(臨時):平成19年3月8日(金)から県立漁業高等学園にて実施する予定 免許講習(3・4・5級海技士/航海・内燃機関):平成19年3月下旬までに、海技大学校(兵庫県芦屋市)にて実施する予定

問合せ先:本会漁政課(TEL:054-254-6011)、焼津漁協指導係(TEL:054-628-7115)

### 7. 新刊図書紹介 「漁港漁場関係事業事務必携」

全国漁港漁場協会では、平成18年度版「漁港漁場関係事業事務必携」を発刊します。本書は、漁港漁場関係事業を円滑適正に推進するための手引書として、事業実施に伴う諸手続き等を、初めての担当者でも容易に行えるよう分かりやすく解説しています。

多様なニーズに対応した新規事業等についても盛り込み、効率的で透明性のある漁港漁場行政を目指し、事業の簡素化、効率化に配慮するとともに、より一層利用しやすくなっています。

価格:6,500円(税込) B5版 発行予定:平成18年10月下旬 問合せ先:10月17日までに県漁港漁場協会へ申し込む TEL:054-253-9631

安全・安心な水産物供給と活力ある漁業づくりに努めよう

漁協系統事業の全利用運動を進め組織の強化を図ろう